取扱説明書

Défi Exciting Products by NR

'13.07-1

DIN-Gauge

ディンゲージ
DF14401, DF14402, DF14403, DF14404

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は車両情報を表示するアナログメーターです。お客様・取付業者様ともに、ご使用の前に必ず本取扱説明書と保証書をよくお読みの上、十分に内容を理解してから正しくお使いください。特に安全・取り扱いに関するご注意は必ずお読みください。取付後も、本書と保証書をいつでも取り出せるところに大切に保管し、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。本製品（及び本製品が取り付けられている車）を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書及び保証書も必ずお渡しください。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承いただけますようお願い申し上げます。

本製品お取り付けの際には、取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項も合わせてよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、ご使用になる前に本体及び付属品が全て入っているかご確認ください。

最新の情報は当社ウェブサイトに掲載しておりますのでご確認ください。

http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の 3 つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

⚠ 危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確　認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

⚠	⚠ 注意（警告を含む）をしなければならない記号です。
⃠ 禁止	⃠ は、行為を禁止する記号です。（絶対にしてはいけない事です。）
❗ 強制	❗ は、行為を指示する記号です。（必ず行って頂くことです。）

取付作業をする前に（取付業者様へ）

⚠ 危険

❗ 作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。
❗ 配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス（－）ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
⚠ シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時（ネジの脱着など）は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
❗ 配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかるところは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
❗ 電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しかかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
❗ 電源配線時、IGN ハーネス接続ラインの車両側に 30A 以下のヒューズがあることを確認してください。30A を超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となり大変危険です。
❗ ヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
❗ 電源ハーネスのヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。
⃠ 製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
❗ 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

⚠ 警告

❗ 取付箇所・取付方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けないでください。誤った取付箇所・取付方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
⃠ 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
⃠ エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
❗ 必ず既存の配線に影響が出ないような配線を行ってください。車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。
⃠ 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
⃠ 乗員保護装置（エアバック等）の作動に影響を及ぼす場所に取り付けないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

⚠ 注意

❗ 12V 仕様車専用です。12V 車以外には取り付けないでください。
❗ 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取付時に外したり、ゆるめた部品やコネクター、新たに配線したものなどは必ず正しく組みつけ、固定してください。
⃠ 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
⃠ 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
⃠ 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。
⚠ 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
⚠ ハーネスは点火信号や無線、HID ユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズはメーター誤動作の原因となります。
⃠ ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。
⚠ お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。中性洗剤以外の液体等を使用すると故障の原因となりますので、使用しないでください。
❗ ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。
❗ センサーは熱のこもらない場所、及び水のかからない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
⚠ センサーを取り付ける際は、センサー近くのハーネス部分を曲げないように取り付けてください。
⚠ エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
⃠ コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。

確　認

❗ 取り付けは必ず本書に従ってください。
⚠ バッテリーのマイナス（－）ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
❗ 取付作業が終了しましたら、本取扱説明書、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
⚠ 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば、正常動作します。
❗ 純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
❗ 電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
❗ ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行なってください。近付けたり、ハーネスを一緒に束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
⚠ 取付作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取り扱いに関して（お客様・取付業者様へ）

⚠ 警告

❗ 本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
⃠ 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
⃠ 走行中は安全のため本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
⃠ 「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取付店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
❗ 操作は車を停止して行ってください。
❗ 幼児・子供等が部品を飲み込まないように製品をしっかり固定し、残った部品は手の届かないところで保管してください。

⚠ 注意

⚠ 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
⃠ コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクターによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。

確　認

⚠ **旧 Defi-Link システムや ADVANCE システムとリンクさせることはできません。**
❗ 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。
⚠ 本製品は照明に高輝度 LED を使用しています。LED 生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
❗ 取付後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。

ラインナップ（お客様へ）

品番	文字板色	目盛り色	照明色	指針色
DF14401	黒	白	白	白
DF14402	黒	アンバーレッド	アンバーレッド	白
DF14403	黒	白	白	アンバーレッド
DF14404	黒	アンバーレッド	アンバーレッド	アンバーレッド

主な特長（お客様へ）

- 3 つのメーターを DIN サイズに美しく収め、一体感のある洗練されたコックピットビューを実現。
- 全面フラットフェイスガラス＋ブラックマスク採用により高級感を演出。
- 3 つのメーターが連続的に動作を行うシーケンシャルセレモニーをオープニングとエンディングに採用。
- それぞれのメーターが独立してドライバー側へ向いている傾斜文字板採用により高視認性を実現。
- STS26B ステッピングモーター採用。
  - 最大振れ角 270°を 4,600 分割（0.059°）のマイコン制御により広振れ角・高精度を実現。
  - サーキットシーンにも耐えうるクイックレスポンス。
- 照明に透過文字板と発光指針を採用し、夜間でも高い視認性を実現。
- 照明光源に超高輝度 LED を採用、バルブ切れによる交換が不要。

寸法（mm）・各部の名称（お客様・取付業者様へ）

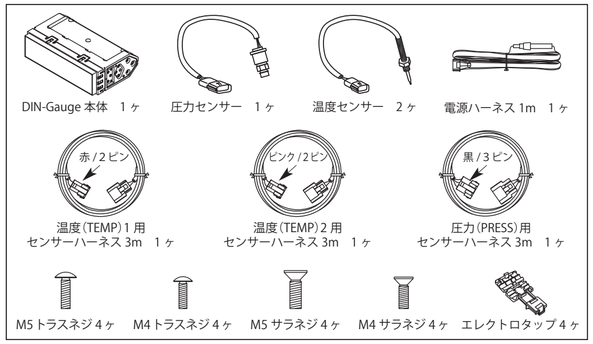
※ネジ穴詳細は取付方法をご覧ください。
※温度計 1, 2 の並び順とコネクターの並び順にご注意ください。

製品仕様（お客様・取付業者様へ）

電源電圧		DC10V ～ 16V（12V 車両用）
消費電流	+B 線	MAX 0.5A （暗電流　0mA）
	IGN 線	MAX 0.5A
	ILM 線	MAX 0.1A
動作温度範囲（湿度 80%以下）	DIN-Gauge 本体	－20 ～ ＋60℃
	温度センサー	－20 ～ ＋150℃
	圧力センサー	－30 ～ ＋120℃
保存温度範囲（湿度 80%以下）	DIN-Gauge 本体	－30 ～ ＋80℃
	温度センサー	－30 ～ ＋150℃
	圧力センサー	－30 ～ ＋140℃
表示範囲	TEMP（温度）1	30 ～ 150℃
	TEMP（温度）2	50 ～ 150℃
	PRESS（圧力）	0 ～ 1,000kPa
センサーネジピッチ	TEMP（温度）センサー	1/8PT
	PRESS（圧力）センサー	1/8PT
総重量		1,000g（メーター本体、ハーネス、付属品、パッケージ含む）

部品表（お客様・取付業者様へ）

本製品は、下記の部品で構成されています。取付前に部品をご確認ください。
また、故障した場合はパーツ販売しておりますので、販売店にご相談ください。
❗ センサー取付用のアタッチメントやシールテープは含まれておりませんので別途ご購入ください。
❗ **下記部品の他に、取扱説明書（本書）、保証書が同梱されています。紛失しないよう保管してください。**



補修パーツ（お客様へ）

品　名	品　番
圧力センサー	PDF00703S
温度センサー	PDF00903S
温度 1 センサーハーネス（3m）	PDF05602H
温度 2 センサーハーネス（3m）	PDF05603H
圧力センサーハーネス（3m）	PDF08105H
DIN-Gauge 用電源ハーネス（1m）	PDF05601H
電源ハーネス用管ヒューズ（1A）2 ヶ入り	PDF07113G

故障かな？と思ったら…（トラブルシューティング）（お客様・取付業者様へ）

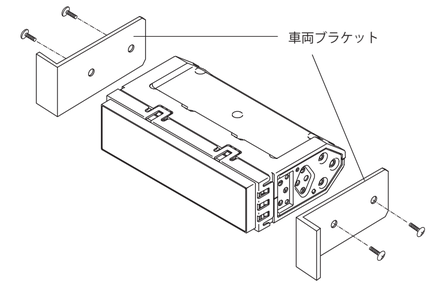
⚠ 警告

❗ 異常を感じたら、必ず点検をして異常がないことを確認してください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

※取付完了後にトラブルが発生した場合は、以下の表を参考にも一度配線等を確認してください。

症　状	考えられる原因	対処方法
○通常動作時のメーターは正常に動くのですが、キーを OFF した時にメーターの指針が真下に戻らずに止まります。	○電源ハーネスの +B（バッテリー：赤色、常時電源）の接続不良です。 ○電源ハーネスのヒューズが切れている。	○取扱説明書（本書）に基づいて、配線の確認をお願い致します。正常であれば、キー OFF するとエンディングセレモニー後、全てのメーターの指針は真下を向きます。 ○電源の配線を確認のうえ、販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
○イグニッションキー ON にすると指針がおかしな動きをします。	○エンジンスタートに連動して照明 LED が点灯し機能のチェックをしているためです。	○商品には異常はございません。但し、指針が一定間隔で細かく振れている場合は「断線」「ショート」が考えられます。使用方法の項目に異常の見分け方の説明がありますので、確認のうえ、販売店にご相談ください。
○純正の水温計は一定指示をしているのに DIN-Gauge の指針が動きます。	○純正の水温計はユーザーが不安を感じないように、危険な温度になるまでメーターの中央付近より高温側へは動きません。DIN-Gauge 水温計は精度を最重視しているので、正確に水温を表示するように設計されています。	○正常動作です。
○水温計・油温計の指示温度が上がりません。低めを指示します。	○センサーアタッチメントとセンサーの間のネジピッチ変換アダプターを使用した場合やスリーウェイジョイントを使用して取り付けた場合は流動している冷却水またはオイルの温度を測定できない為、精度が悪くなります。	○センサーを直接取り付けできる T ジョイントもしくはアタッチメントに変更してください。
○水温計がエンジン始動して少し時間が経つと、突然上に上がり始めます。エンジンはだんだん熱くなっていくのに、おかしくないですか？	○水温センサーを取り付ける場所がラジエーターから出ているアッパーホースのため、ラジエーターのサーモスタットが開き、冷却水が循環するため、このような現象となります。	○故障ではございません。
○メーターの指針が走行中おかしな動きをしたり、振り切ったり、止まってしまいます。	○電源配線の接触不良の可能性があります。	○取扱説明書（本書）に基づいて配線のご確認をお願い致します。
○取り付けたのですが、動作しません。何が考えられますか？	○電源配線の誤配線の可能性があります。	○取扱説明書（本書）に基づいて配線のご確認をお願い致します。
○取り付けたら車の調子がおかしくなりました。何が考えられますか？	○センサー関係の取り付けによる可能性があります。	○取り付けを依頼したお店にセンサー関係の取り付けをもう一度確認してもらってください。
○スモールランプ ON にしても、メーター照明が点灯しません。	○イグニッションキー OFF 時にスモールランプ ON にしているためです。 ○イルミ配線の接触不良または誤配線の可能性があります。	○正常動作です。イグニッションキーを ON しないとメーター照明は点灯しません。 ○取扱説明書（本書）に基づいて配線のご確認をお願い致します。
○30℃～150℃を水温、50℃～150℃を油温として取り付けたが、表示が逆のように感じられます。	○メーター本体のセンサーハーネスを接続する場所の、TEMP1,2 の関係が逆になっているためです。	○取扱説明書（本書）に基づいて配線のご確認をお願い致します。
○イグニッションキー OFF にすると、針がおかしな動きをします。	○イグニッションキー OFF に連動して照明 LED が点灯し、エンディングを演出しているためです。	○正常動作です。

取付方法（取付業者様へ）



○トラスネジ（M5、M4）、サラネジ（M5、M4）の 4 種類のネジが付属されています。いずれか 1 種類のネジ 4 本を使用して DIN スペースに取り付けます。
○お取り付けの車種によってはメーターまわりにすきまができる場合があります。必要に応じて市販の化粧パネルを別途ご購入ください。

⚠ 警告

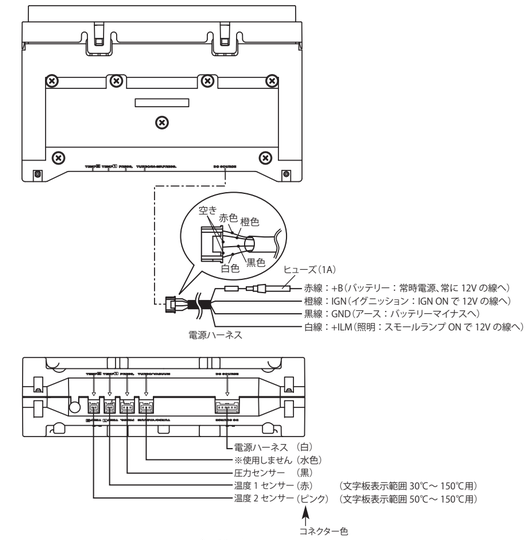
❗ 取り付け・取り扱いについては「取付作業をする前に」、「取り扱いに関して」をよくお読みいただき、安全に正しくお取り付けください。誤った取付箇所、取付方法は、脱落や車両破損の原因となり大変危険です。
⃠ 本製品では TURBO/VACUUM と記載されている端子は使用しませんので接続しないでください。

⚠ 注意

⚠ メーターを車両に取り付ける際には、別途純正または市販の車種別オーディオブラケットが必要な場合があります。
❗ 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本製品の内部が破壊される恐れがあります。また、短いネジを使用すると、本製品が車両側（DIN スペース）から外れることがあります。なお、取付ネジは付属の 4 種類のトラスネジとサラネジから車両にあったネジをご使用ください。

⚠ 車種により、純正装着の車両ブラケット側に位置決め突起がある場合があります。位置決め突起をハンマー等で平らにしてお取り付けください。
⚠ ガラス表面は保護シートが貼りつけてありますが、鋭利な物や硬い物でぶつけたり、落としたりした場合、傷がつきます。お取り付けの際には十分注意して作業してください。

【配線図全体】

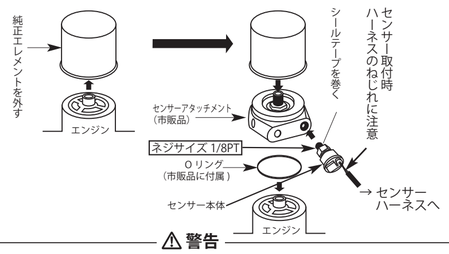


⚠ 注意

❗ DIN-Gauge 本体に記載されているセンサーの種類と合ったセンサーハーネスのカプラーを差し込んでください。間違って差し込んだ場合、正常に動作しません。
❗ コネクターを抜く際は、コネクターのロックを確実に押しながら抜いてください。

圧力センサー取付方法(取付業者様へ)

■油圧センサー取り付け (市販品 1/8PT センサーアタッチメントを使用)



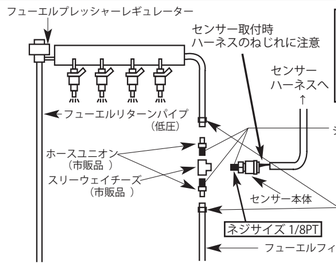
⚠ 警告

- ❗センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ❗取付作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ❗センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けてください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ⃠センサーはオイルポンプの近くには取り付けないでください。また、プレッシャースイッチに直付けしないでください。いずれの場合も圧力の脈動が大きく、瞬間的にフルスケールの 3 倍を超える為、センサーに悪影響を与える危険があります。
- ❗センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げずまっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確　認

- ❗センサーのネジサイズは 1/8PT です。ネジサイズが 1/8PT のアタッチメントをご使用ください。
- ❗**始めにセンサーをねじ込み、センサー取付後センサーハーネスに接続してください。**

■燃圧センサー取り付け (市販品 1/8PT スリーウェイチーズ、市販品 1/8PT ホースユニオンを使用)



※フューエルフィードパイプをカットしてホースユニオンを取り付ける。
※フューエルフィードパイプの内部素材が樹脂製などのホースユニオンが固定できない場合がありますのでフューエルフィードパイプをカットする前にご確認ください。

⚠ 警告

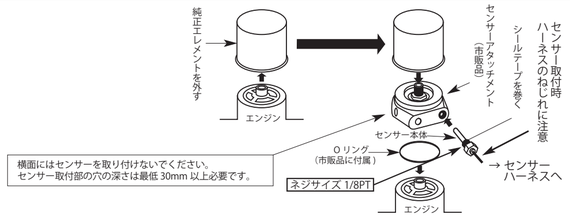
- ❗センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ❗フューエルフィードパイプを切断する前に、必ず給油口を開けて、フューエルタンク内の圧力を下げてください。燃料が吹き出す恐れがあり、大変危険です。
- ❗フューエルフィードパイプを切断する際は必ず除電して作業を行ってください。燃料に引火する恐れがあり大変危険です。
- ❗フューエルフィードパイプを切断する際は、燃料から目を保護するため、保護メガネを着用して作業を行ってください。
- ❗センサーは、燃料漏れを起こさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、市販のホースユニオンとフューエルフィードパイプを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずパイプやホースユニオンに燃料漏れがないか点検してください。燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり、大変危険です。
- ❗センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確　認

- ❗センサーは必ず、フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーター間のフィード(高圧)パイプ側へ取り付けてください。
  ※フューエルプレッシャーレギュレーター後のリターン(低圧)パイプ側では、正確な燃圧をとることが出来ません。
- ❗センサーのネジサイズは 1/8PT です。ネジサイズが 1/8PT のホースユニオンとスリーウェイチーズをご使用ください。
- ❗**始めにセンサーをねじ込み、センサー取付後センサーハーネスに接続してください。**

温度センサー取付方法(取付業者様へ)

■油温センサー取り付け (市販品 1/8PT センサーアタッチメントを使用)



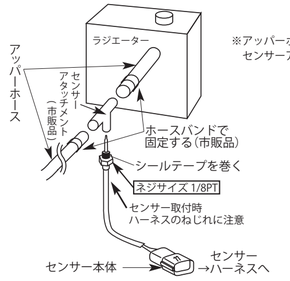
⚠ 警告

- ❗センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ❗取付作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ❗センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けてください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ❗センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げずまっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確　認

- ❗センサーのネジサイズは 1/8PT です。ネジサイズが 1/8PT のアタッチメントをご使用ください。
- ❗センサー取付部の穴の深さは最低 30mm 以上確保してください。
- ❗**始めにセンサーをねじ込み、センサー取付後センサーハーネスに接続してください。**

■水温センサー取り付け (市販品 1/8PT センサーアタッチメントを使用)



※アッパーホースをカットして、エアだまりを防ぐため、センサーアタッチメントを下または横向きに取り付ける。

⚠ 警告

- ❗センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ❗取付作業によって、抜けた分の冷却水は必ず補充し、エア抜きを行ってください。冷却水が少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ❗センサー取付作業を行う際は、水漏れを起こさないようにシールテープを巻き、市販のセンサーアタッチメントとアッパーホースを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずホースやセンサーアタッチメントに水漏れがないか点検してください。水が漏れたまま走行すると、エンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ❗センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確　認

- ❗センサーのネジサイズは 1/8PT です。ネジサイズが 1/8PT のアタッチメントをご使用ください。
- ❗**始めにセンサーをねじ込み、センサー取付後センサーハーネスに接続してください。**

取付最終確認項目(取付業者様へ)

⚠ 警告

- ❗作業終了後は必ず運転席やエンジンルームに何もないことを確認してください。運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。
- ❗最終仕上げとして、以下の項目を必ず実施してください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

○取り付けた配管が確実に接続され、配管の差し忘れや誤配線、及び液漏れ・排気漏れがないか確認してください。

○センサー本体やハーネスなどが、エンジンルーム内で作動装置 (ラジエターファン、スロットルボディなど) と干渉していないか確認してください。

○センサー本体やハーネスなどが、点火系装置 (イグニッションコイル、ディストリビューター、プラグコードなど) を避けて配線されているか確認してください。

○メーター本体やハーネスなどが、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。

○メーター取り付けの際に取り外した車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認してください。

○バッテリーのマイナス端子を外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。

以上で、すべての取付作業は終了です。

確　認

- ❗本製品はガラス保護のため、保護フィルムが貼ってあります。製品取付終了後に、お客様立ち合いのもと、フィルムをおはがしください。

メーターの動作について(お客様へ)

【オープニング・エンディング】

○イグニッションを ON すると、シーケンシャルセレモニー(オープニング動作)後にメーターが動作します。

○イグニッションを OFF すると、シーケンシャルセレモニー(エンディング動作)後にメーターが停止します。

【照明】

○イルミスイッチを ON にすると文字板と指針の照明が点灯します。

○イルミスイッチの ON/OFF に関わらず、シーケンシャルセレモニー中は照明が点灯します。

【チェック機能】

⚠ 警告

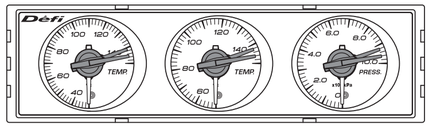
- ❗エンジン始動後、必ずメーターをチェックしてください。万一異常を発見できずに発進させると大事故が発生する恐れがあります。

指針が下記動作することによりセンサー及びセンサーハーネスのチェックができます。取付後、下記動作をした場合、取り付けを依頼したお店にご相談ください。

■断線 (オープン) チェック機能

この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線が発生していることを知らせるものです。断線 (オープン) しているセンサー及びセンサーハーネスが接続されているメーターの指針がゼロ点から 250°～260°の角度の間で下図のように振れます。

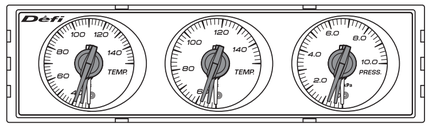
※下図は指針の角度を示したものであり、3 つのメーター指針が同時に振れるわけではありません。



■短絡(ショート)チェック機能

この機能は、センサー及びセンサーハーネス上のどこかで短絡(ショート)が発生していることを知らせるものです。短絡(ショート)しているセンサー及びセンサーハーネスが接続されているメーター指針がゼロ点から 10°～20°の角度の間で下図のように振れます。

※下図は指針の角度を示したものであり、3 つのメーター指針が同時に振れるわけではありません。



保守・点検・保証・アフターサービス

■保証書・保証規程について

本製品には本書とは別に保証書が入っております。また、保証書の裏面に保証規程を記載しております。本製品は保証規程の内容に従って保証されます。よくお読みになり、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。保証書の提示がない場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

■保証期間

保証期間はご購入から1年です。ご購入いただいた販売店が保証書に記載されていることをご確認ください。記載がない場合は、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。詳細は保証規程をご覧ください。

⚠ 本製品を使用されて発生した違反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

⃠ 危険ですのでご自身では修理しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障・事故の原因となります。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後3 年間保有しております。
(性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。)

■検査依頼について

取り付けた製品の調子がおかしい、または動作がおかしくなったと感じた場合はお買い上げいただいた販売店に検査をご依頼ください。Defi 製品は車両への取付・配線作業が発生するため、お客様からの直接の検査ご依頼は受け付けておりません。

検査・修理は Defi 製品の販売店にご依頼くださいますようお願いいたします。引っ越しや販売店の閉店等の理由により、お買い上げいただいた販売店に行くことができない場合はお近くの Defi 製品取扱店にご依頼いただくか、Defi お客様相談室までお問い合わせください。

❗ 検査を依頼される際には、製品の他に保証書とお客様情報を必ずご提示ください。

中古製品を購入しご使用される場合や、中古車を購入し取り付けられていた製品をご使用いただく場合は、必ずDefiで点検(有償)してからご使用ください。また、 5年以上ご使用になった場合もDefiで点検(有償)してください。

取付後も製品本体、ハーネス、センサー部などを定期的に点検し、異常がないことをご確認の上、十分注意してご使用ください。

お客様情報

検査を依頼する際には、お店の担当者に以下のことをおこたづけください。

1. お客様のご連絡先		
郵便番号・住所：		
氏名：		
電話番号：		
メールアドレス：		
2. 購入店と取り付け作業先 (連絡先)		
3. 取り付けている車両の情報		
車種：		
年式：		
型式：		
エンジン型式：		
排気量：		
ギアミッション (MT/AT)：		
リミッターカット	有	無
純正タコメーター	有	無
エンジン載せ換え	有	無
社外点火システムへの変更	有	無
ECU 変更	有	無
センサー取付方法：		
その他の仕様：		
4. お使いの Defi 製品 (検査依頼する製品以外にも取り付けている場合はその製品も)		
5. 動作の状況 (いつ？何をしたら？どの製品が？何がどうなったのか？その後の状況は？)		

■ラベルについて

製品に貼ってあるラベルは製品情報を特定するためのものです。絶対に剥がさないでください。

■廃棄方法について

製品を廃棄する際は、廃棄物処理法ならびにお住まいの自治体のルールに従って処理してください。パッケージについてはリサイクルが可能です。(パッケージに記載されているリサイクルマークをご覧ください。)

ディンゲージ　取扱説明書
■発行　　初版2013年7月
■製造元　日本精機株式会社
■連絡先　日本精機株式会社 Defiお客様相談室
【住所】〒940-2141 新潟県長岡市藤橋1-190-1 R&Dセンター Defi
【電話番号】(03) 3835-3639 (Japanese only)
【FAX番号】(03) 3834-8116
【受付時間】10:00～12:00, 13:00～17:00 (土・日曜、祭日、当社休日を除く平日)
【Webサイト】http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/
PAT. 3478339　PAT. 3478340
日本精機株式会社